

## 東北大学大学院経済学研究科教員公募要領

### 1. 職種・人数 講師1名

東北大学経済学研究科テニユアトラック制度を適用する。任期は、国立大学法人東北大学教員の任期に関する規程及び国立大学法人東北大学特定有期雇用職員就業規則の定めるところにより5年とし、給与は年俸制とする。また、任期中に所定の審査に合格した場合には、准教授（任期なし）に昇任する。なお、業績により准教授（任期なし）として採用することがある。

### 2. 所属専攻 経済経営学専攻

### 3. 担当科目等 「計量経済学」

担当授業科目は「大学院専門科目（計量経済学／データ科学に関連する科目）」、「学部専門科目（数理統計）」、「学部演習科目」等である。古典的な計量経済学の理論と方法を基本としつつ、現代的なデータ科学の方法を積極的に取り入れ、人文・社会・経済・ビジネス分野等におけるデータ分析を研究／教育できる方を対象とする。

### 4. 就業時間等

就業時間は、午前8時30分～午後5時15分（うち休憩1時間）とし、専門型裁量労働制を適用し、1日7時間45分働いたものとみなす。休日は、土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）とする。

### 5. 応募資格

- (1) 博士の学位を有する者、あるいは、着任時までに取得見込みの者。
- (2) 国籍は問わないが、日本語および英語で講義や指導ができること（テニユア取得後は、日本語による業務遂行能力が必要とされる）。

### 6. 応募期限 2024年6月28日（金）必着

### 7. 採用時期 2025年4月（予定）

- ### 8. 応募書類
- (1) 履歴書（本学指定の様式による。（<https://www.econ.tohoku.ac.jp/recruit>よりダウンロードして使用すること。）（1部）
  - (2) 研究業績目録（著書、論文等を公表年順に記載したもの）（1部）
  - (3) 主要研究業績（3編以内）の別刷り（コピー可、各3部）
  - (4) 教育・研究・社会貢献についての抱負（A4用紙1枚以内）
  - (5) 学位記の写し、または学位取得（見込）証明書（1部）

### 9. 採否の通知 2024年9月下旬（予定）

### 10. 選考方法 書類審査による。必要に応じて面接などを行うことがある。

- ### 11. 応募書類の提出先・問い合わせ先
- 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1  
東北大学大学院経済学研究科総務企画係  
電話 022-795-6268

### 12. その他 「計量経済学応募書類在中」と朱書きの上、書留郵便にて送付のこと。応募書類は

原則として返却しない。

本件については、東北大学大学院経済学研究科ホームページ <http://www.econ.tohoku.ac.jp/recruit> および科学技術振興事業団(JST)の人材募集案内情報「JREC-IN (研究者人材データベース:ジェイレックイン)」 <http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop> に掲載されている。

- 東北大学は多様性、公正性、包摂性 (Diversity, Equity & Inclusion : DEI) を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。  
東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>
- 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学-みんなが主役-多様な性に関するガイドライン」を制定しています。  
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ  
[https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for\\_minority/](https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/)
- 東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園 (定員 22 名) 及び青葉山みどり保育園 (定員 116 名) の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園 (定員 120 名) があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。
- その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。  
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ  
[https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for\\_family/](https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/)  
人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>
- 任期中に産前休暇及び産後休暇、育児休業、介護休業等を取得する場合、教育研究の推進上必要と認めるときは、休暇・休業期間の範囲内で当該任期を延長することがあります。